



アエファ AEFA通信

認定NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

<http://blog.canpan.info/aefa/>

ベトナム フートゥーC小学校 4/29 開校式が行われました

2011年4月29日「アジアの子供たちに学校をつくる議員の会」様の第10校目ともだち小学校「フートゥーC小学校（ベトナム南部チャビン省ティウカン郡）」で、開校式が行われました。AEFAとしてご一緒させていただくのは、2009年のタイ ファイコン小学校に引き続き2校目です。



はりも朽ち、窓も壊れ、柱もひびが入り割れ、トイレもなく、衛生状態も良くない状態だった学校が、明るく風通しのよい瓦屋根の素敵な学校に生まれ変わりました！これまでは2教室しかなかったため、上級生は6km離れた本校に通わなければなりません。新しい校舎ができたおかげで、教室不足も解消され、全学年の授業を全日制で行えるようになりました。教員室もでき、教育の質も高められることも期待されます。



当初は、議員の会所属の国会議員の皆様方がご出席予定でしたが、東日本大震災の対応でご参加が難しく、遠藤利明議員の秘書武田裕一様、議員の会事務局の高橋様が代理でご出席くださいました。武田様より、安倍晋三代表の祝辞を代読して頂きました。

開校式の後は、近隣のAEFA建設4校（フートゥーC、フートゥーA、タンホアA、フーカンB）の子どもたちによるスポーツ大会が開催されました。議員の会の皆様から贈呈された日本の綱引きを、早速みんなで楽しみました。日本人もベトナム人も、大人も子どもも入り混じって、校庭は大歓声に包まれました。最後に、新しい校舎をバックに記念撮影。新しい校舎ができて、嬉しそうな子どもたちの笑顔がとても心に残る一日でした。

**アジアの子供たちに学校をつくる議員の会のみなさま
ご支援ありがとうございました！**



フートゥーC小学校開校式 児童代表スピーチ

皆さんこんにちは。このようなすばらしい学校で勉強することができとても嬉しいです。日本の皆さんありがとうございます。皆さんの気持ちを裏切らないよう頑張って勉強します。



2011年3月の半ば、日本の東北地方の皆さんが地震と津波の被害にあったことをテレビで知りました。被災地の皆さんに心よりお見舞いを申し上げます。校長先生の呼びかけで、私達は一生懸命被災地の生徒への支援募金に参加しました。朝食を抜いたり、休み時間に食べるお菓子を我慢して、私達は被災地の皆さんのためにお金を集めました。児童を代表し皆さんの悲しみを分かち、皆さんが一日も早く学校に行けるように願っています。

テレビで日本の被災地の様子をニュースで見、多くのことを学びました。それは規律正しさ、困難に打ち勝つ精神、優しさ、自己犠牲です。9歳の生徒がこのよう大変な時にとった行動は、私たちが立派な大人になるための教訓になりました。

彼は地震の時に体育の時間で校庭にいたそうです。子供たちは先生の誘導で3階のバルコニーに避難しました。彼のお父さんは近くで仕事をしていたので、学校に車で迎えにやってきました。その時津波に襲われて、彼は眼下でお父さんの車が津波に飲み込まれていくのを目撃してしまいました。知り合いの人がかわいそうに思って、その9歳の子に食べ物の袋をあげました。その子は小さい袋を受け取り、その袋を「食料配給箱」の中に入れて、自分はまた食糧配給を待つ人の列に戻ったそうです。小さい袋を渡した知り合いの人が「せっかくあげたのに、どうして食糧配給箱にいれたの？」と聞いたら、「自分よりもっとお腹がすいている人がいるから、平等にわけてもらえるように（食糧配給箱の中に入れて）」と答えたそうです。

その話を聞いて、私はとても感動しました。9歳、小学校3年生という男の子が最も困難な時に人として立派なことをするというのを私達に教えてくれました。私にとって自己犠牲の精神という、とても感動的な教訓です。9歳の子が「忍耐」や「人のために犠牲になること」を受け入れる、そのような民族は偉大なる民族に違いありません。この募金箱を先生達に託して日本の被災地の皆さんに送りたいと思います。ご来賓の皆様、先生方、そして生徒の皆さんの健康をお祈りしています。

児童代表 5年1組 Le Thi Bui Tien

4月 ベトナム出張 報告

◆レバンタム小学校コンヒリン分校◆

29号でご紹介した東日本大震災の後すぐに「日本の友達に届けて！」とお米や鶏を持ち寄ったり、募金活動をしてくれたレバンタム小学校コンヒリン分校。

「あの時みんなが持ち寄ってくれたお米や鶏はどうしたんですか？」と尋ねると…「先生達が市場に持って行ってお金にし、日本への義援金にしました」とのこと。

ベトナム中部高原は2年前のケッサナ台風の被害で大変な被害にあった土地。人々の暮らしは決して楽ではありません。あたりはだいぶ復旧して、緑も戻ってきましたが、いまだに山肌には大きく削られた跡が残っていたり、根こそぎなぎ倒された木が放置されている場所もありました。

「子どもたちの中には台風で家族や家を失った人もいます。だからこそ、日本のみなさんが今どんな気持ちでいるか、どんな大変な思いをしているかがわかるんだと思います」と、校長先生。

「自分たちも大変な思いをしたから、今度は大変な思いをしている日本の子どもたちのために何か自分のできることをしたい」その思いで、子ども達も、先生達も、そして村人達も動いてくれたそうです。日々の生活は決して豊かではありません。

貧しいけれども、「人を思いやる」という温かい心を持った人々のいる村でした。そして、いつも明るく笑顔で子どもたちを見守る、素敵な先生たちのいる学校でした。



◆チューオレン小学校◆

日本で起きた地震や津波のことをテレビや新聞で知り、みなさんとても心配して下さっていました。「私たちにとって日本はとても身近な国。とても心配しています。わずかではありますが、先生たちでも募金をしました」と目に涙を浮かべながら語ってくれた副校長先生。

ニュースで流れたあまりにも悲惨な映像に、涙が止まらなかったそうです。ここでは5年生を対象に写真を見せながら東日本大震災のこと、そんな中で頑張っている日本の子ども達の話をしてきました。

ベトナムは地震国ではないため、子どもたちは地震がどんなものか想像がつかないそうです。「日本が今とても大変な状況にあるということはよくわかっています。私たちも自分たちにできることをやっと思っています。これからも日本との交流は続けていきたいと思っています」と力強く語ってくださった校長先生。離れていても、日本を想い祈ってくれている先生や子どもたちの真剣なまなざしに勇気づけられた一日でした。



◆グエンフーカン小学校プレリオール分校◆

グエンフーカン小学校本校のフエ校長先生。自ら学校で宿泊し学校を守る熱血先生です。ベトナム語で歌を歌って下さいました。なんだか馴染みのあるメロディー。日本では、「ぐーちょきぱーで、ぐーちょきぱーで、なに作ろう～なに作ろう～♪」という手遊びの歌になっています。早速手遊びつきで日本語の歌詞で歌ってあげたところ、

「日本語で覚えたいから歌詞を書いて！」とフエ先生。ローマ字で歌詞を書いてあげました。早速練習するフエ先生。慣れない日本語ながら、ローマ字を追って一生懸命歌っていています。新しい事にすぐに挑戦するフエ先生。まさに熱血です。



1年生を教えているコバン先生のクラスでは、私たちが教室の中にお邪魔するとみんなで起立。礼儀正しく挨拶をしてくれました。先生が何か質問をすると、どの子もスッと立ち上がり

「はい、先生！私は〇〇だと思

います」ときちんと答えています。教室の外ではきちんと

随所でコバン先生の指導がいきわたっています。こんな熱血先生達に教えてもらっている子ども達。やっぱり子ども達の笑顔もキラキラと輝いていました！



◆トゥモロン小学校◆

「各教室に日本との交流コーナーを作って、お互いの国の作品を紹介しています。」と紹介してくれた先生方。「田舎の学校では、海外との交流の機会はなかなかないのでとても貴重な機会だと思っています。」

◆ゴックトゥ小学校◆

「日本からの絵や手紙などを教室に貼って、子供たちと楽しんでいます。これからも日本との交流を楽しみにしています」と校長先生。



ベトナム グエンヒエン小学校ミーソン分校

外壁も建ち、だいぶ学校らしくなってきました。9月の開校式に向けて、現地では順調に工事が進んでいます。

この学校は株式会社エコロインターナショナル様よりご支援を頂いております。



～日本のお友だちへ～ ベトナム タンホアA小学校

ベトナム南部にあるタンホアA小学校から日本のお友だちへ震災お見舞いの詩が届きました。

◆◇ 祈り ◇◇

私の友よ あの震災がおこってから
ずっとあなたのことを考えています
私にできる事は 今の私のような快適な生活が
あなたにもおとずれるように祈ること
ねえ お月さま ねえ 月の女神フォイベー
どうか私の祈りを 彼らに安全をもたらし優しい光と
心地よい風と共に日本の友達に届けてください
5年1組 グエン・ティ・ホン・ブイ

◆◇ 信じること ◇◇

君は今どこにいるの
きっと悲しんでいるよね
でもそんなに落ち込まないで
頑張っている君を
ずっと誇りにおもっているから
ともに世界を立て直そう
トラン・ティ・トウイ・アン

◆◇ 絆 ◇◇

立ちあがれ わが友よ
あなたのそばには私がいる
私たちの絆は絶えることはない

だから友よ 心配しないで
一生懸命に頑張っていれば
きっと良くなっていくから
トロン・フォン・ブイ

公開授業～町田市立南大谷小～

5月28日、町田市立南大谷小学校『道徳授業地区公開講座講演会』にて、AEFA理事長が「私のボランティア人生と子育て論～未来を担う子どもたちのために」をテーマに、保護者の皆様にお話させて頂きました。

同校では、校庭の銀杏の実を子どもたちが拾い・洗い・乾かして販売した売上を、ラオスに学校を作る『ワンコイン・スクールプロジェクト』に協力して下さっています。今回、直接保護者の皆様にお話できたことで、その取り組みの意義もご理解頂くことができました。



詩が綴られた壁新聞

★これまで学校がなかったところに中学ができます！

株式会社ディアーズ・ブレイン様による、ラオス フォーサイ中学校のご支援が、Shared Smile Japanを通して行われることが決定しました。フォーサイ村学区（フォーサイ村及び近隣4村）のそれぞれの村には小学校しかなく、中学校はありません。このご支援により、本学区101人の新・中学生が、自分たちの学区内の中学校で学ぶことができますようになります。



★「ビール一杯分の貢献を・・・」

アサヒワンビールクラブ様からのご支援が決定いたしました。ワンビールクラブとは、「ビール一杯分の社会貢献を」が合言葉の、社員による募金制度です。このご支援で、アジア山岳地帯の学校に、「かとうゆーこ」さんの手作り絵本教材を配布する予定です。



あたたかいご支援、ありがとうございます！

AEFAからのお知らせ ラオス手織布の手作り作品を、販売します！

千葉県野田市の陽気なイタリア人「コメ・スタ」さんの一角をお借りして、7/1～30 ラオスの手織布展を開催します。ラオス山岳少数民族の女性による手織布を、日本のちくぬいボランティアさんがバッグやコースター等に手作りしました。これら作品の売上は、ラオスの子供の教育資金となります。

おいしいお食事を楽しみながら、国際協力はいかがでしょう？ぜひ足をお運びください！

住所：千葉県野田市堤根238

電話：04-7123-0077



ブックカバー